



防災に役立てて

松前町商工会女性部 夏祭り売り上げ寄付

松前町商工会女性部（玉野聖子部長）は8月20日、夏祭りの売り上げの一部を、町の大規模地震災害対策基金に寄付しました。平成18年度から毎年、この基金への寄付を行っています。

同部の玉野部長は「防災に役立てていただけたらと思います」と目録を田中町長に渡しました。目録を受け取った田中町長は「毎年貴重な寄付をありがとうございます」と話していました。



食生活改善活動で町を元気にしたい

愛媛県食生活改善推進連絡協議会会長表彰

「愛媛県食生活改善推進連絡協議会会長表彰」は6月25日、愛媛県県民文化会館で行われ、篠崎美知子さんが表彰されました。この表彰は、住民の健康を保持増進するため、食生活改善の活動を積極的に行っている人に贈られるものです。篠崎さんの活動歴は29年になります。

表彰を受け、篠崎さんは「一緒に活動してきた仲間のおかげです」と笑顔で話してくれました。



戦没者を追悼し平和を祈念

松前町戦没者追悼式

「松前町戦没者追悼式」は8月20日に、松前町総合福祉センターで行われ、遺族や各種団体の代表者などが参列しました。式典では、北伊予小学校6年生の米家陽琉さんが作文を発表。『平和はほほ笑みから始まります』というマザー・テレサが残した言葉のように、身近な人が笑顔でいられるように生活していきます」と決意を述べました。その後、参列者は献花を行い、戦没者を追悼し、平和を祈念しました。

- ㊦ 作文を発表する米家さん
- ㊦ 献花する田中町長



大間地区「火流し」「灯籠流し」

お盆の伝統行事

大間地区の有明橋付近で、伝統行事「火流し」「灯籠流し」が行われました。

火流しは8月14日、小学生や保護者が、いかだの上にわらを乗せ、火を付けて川の中で引っ張って祖先の霊を迎え、翌15日、同様にして霊を送る行事です。一方、灯籠流しは8月25日、灯籠を川面に浮かべ、祖先をしのぶ行事です。どちらの行事も、幻想的な風景が広がっていました。

- ㊦ 色とりどりの灯籠が次々に
- ㊦ 大迫力の火流し



おすすめの本について熱弁

第2回知的書評合戦ビブリオバトルin 松前

「第2回知的書評合戦ビブリオバトルin 松前」は8月17日、ふるさとライブラリーで行われました。今年は発表者を一般募集し、5人が参加しました。

ビブリオバトルとは、まず、発表者がそれぞれ自分の好きな本を持ち寄り、5分間のプレゼンテーションを行います。その発表をもとに、会場の全員で「どの本が一番読みたいと思ったか」を基準とした投票でチャンプ本（最も票を集めた本）を決めるゲームです。今回は、松山市の藤田さんが発表した『わたしたちの怪獣』がチャンプ本となりました。



青空の下で熱い戦い

第55回全日本中学生女子サッカー選手権大会

「第55回全日本中学生女子サッカー選手権大会」は8月15日から18日、松前町国体記念サッカー公園で行われ、全国から24チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。開催地枠で出場した松前サッカークラブのキャプテンを務める松前中学校3年生の岡本実珠さんは「目標のベスト8には届かなかったけれど、最後に仲間がシュートを決めてくれて、やってやったぞと思った」と笑顔を見せてくれました。



▲北川原



▲中川原



▲東古泉



▲恵久美



▲鶴吉



▲徳丸

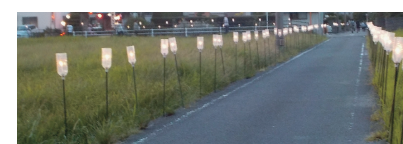


夏の風物詩「盆踊り大会」

町内各地域

町内各地で8月に、盆踊り大会や百八灯が行われました。盆踊りは、お盆の時期に先祖の霊を迎え、共に過ごし、送り出すための伝統的な行事です。また、百八灯は、無病息災、五穀豊穡や先祖供養などを祈願します。

盆踊り大会では、オリジナル曲を用意している地域、雨天で急ぎ屋内に変更した地域と様々でした。浴衣で踊っている姿には風情があり、日本の夏らしさを感じるひと時を参加者は思い思いに過ごしていました。



▲上高柳



年に1回のお楽しみ!

青葉幼稚園納涼大会「あおばっこまつり」

青葉幼稚園納涼大会「あおばっこまつり」は8月22日、青葉幼稚園で行われ、たくさんの人でにぎわいました。

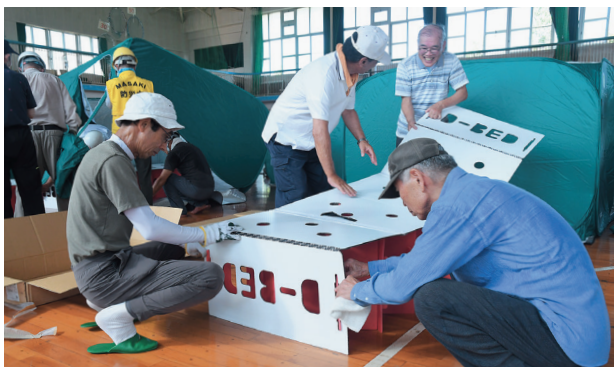
園庭では、かき氷や園児が作った麦みそを使ったおにぎりなどが販売され、大盛況でした。伊予高等学校のバレエ部や書道部の生徒は、子どもたちと触れ合い、楽しませていました。また、不要になった服を回収、洗濯後、町民や海外の難民に提供する活動をしている服のチカラプロジェクトの生徒は、子ども服の譲渡を行いました。



災害に備えて

松前町総合防災訓練

「松前町総合防災訓練」は9月7日に行われ、多くの町民が参加しました。メイン会場となった北伊予小学校では、炊き出し訓練、消防や自衛隊による救助訓練などが行われました。体育館の中では、簡易ベッドの組み立てやテントを張る練習も行われました。福祉センターでは、福祉避難所として車いすに乗った人の受け入れ訓練を行いました。参加者は、真剣に取り組み、防災意識を高めていました。



南黒田工業団地の立地企業が決定

分譲用地の譲渡に関する基本協定調印式

松前町土地開発公社が整備する「南黒田工業団地」について、公募の結果、立地企業3社が決定し、9月1日から5日にかけて「松前町土地開発公社及び松前町並びに南黒田工業団地立地企業との松前町南黒田工業団地分譲用地の譲渡に関する基本協定」の調印式が行われました。



▲はぎの食品株式会社（西岡孝徳社長）

「地域の発展のために貢献したい」



▲ヤマキ株式会社（城戸善浩社長）

「地元になんとか貢献していきたい」



▲株式会社オカベ（岡部光伸社長）

「地元の雇用創出、地域貢献を推進していきたい」